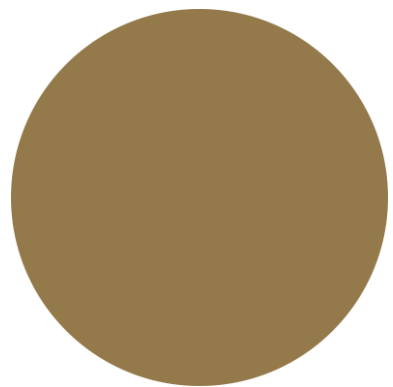


■ 報告事項 # Shebelongs Refugee チーム来日の件

アメリカ・ユタ州の難民少女チームが、アメリカのサッカー少女たち（16–18歳）とチームを組んで、FIFA女子ワールドカップ2023の観戦に行く前に、下記の日程で来日。

その件について報告する



W

E

LEAGUE

#Shebelongs チームの来日について

#Shebelongs Refugee チーム来日の件

アメリカ・ユタ州の難民少女チームが、アメリカのサッカー少女たち（16－18歳）とチームを組んで、FIFA女子ワールドカップ2023の観戦に行く前に、下記の日程で来日。

詳細は別紙参照

WEリーグは、この活動を後援し、下記のフレンドリーマッチにて、全面的に協力する

7月13日（木） 13：00－16：00 慶応大学日吉グラウンド

フレンドリーマッチおよび交流会

トップ選手またはアカデミーチームの協力を募る



APRIL 2023

Refugee Soccer #SheBelongs Project



まず、はじめに

Refugee Soccerとは？

世界各国の難民の方達が**サッカー**を通じて
地域コミュニティーに馴染めるようサポートする団体です。

難民の子供たちが新しい生活環境でも活躍できるよう
サッカーを基軸とした安全で健康的な環境作りをお手伝いします。

難民とは、「人種、宗教、国籍もしくは特定の社会的集団の構成員であることまたは政治的意見を理由に迫害を受けるおそれがあるという十分に理由のある恐怖を有するために、国籍国の外にいる者であって、その国籍国の保護を受けられない者またはそのような恐怖を有するためにその国籍国の保護を受けることを望まない者」と定義されている。

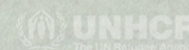




MISSION

世界中の難民の少年少女たちに
サッカーを通じて
Hope(希望) & Happiness(幸福)を
感じてもらうこと。

© UNHCR/Socrates Baltagiannis





背景

2023年現在、世界中で1億人以上とも言われる難民が、避難地で不条理な差別を受けたり、非人権的な扱いを受け苦しんでいます。

ここ日本でも難民認定率が国際基準に比べて著しく低く、また2021年には国内の入管施設において、適切な扱いを受けられなかったスリランカ女性の死亡事故も起きています。





Refugee Soccer概要



✓ 創設者：Adam Miles

- ✓ カリフォルニア出身。HONDAで新型車のコストコントロールや行政とのリレーション担当を務めたのち、ファイナンシャルアドバイザーとして20年以上に渡って金融業界でキャリアを形成。2005年にBRIDGES AMERICA社を立ち上げ、難民支援を目的としたRefugee Soccerプロジェクトをスタートした。2022年にはTED X Salt Lake Cityに登壇し、Refugee Soccerについてプレゼンを行う。英語はもちろん日本語も堪能。

✓ 米国ユタ州で 2010年に米国 501(c)(3)NGOとして設立。

- ✓ 現在日本でもNPO団体（仮称：Refugee Soccer Japan）登記手続き中。

✓ コアチームは経験豊富な経営幹部やアスリートで構成。

*1 501 (c) (3) 団体とは、Internal Revenue Service (内国歳入庁)から税法上の認証を得て、非営利法人として寄付行為に対する税制上の優遇措置が認められている団体のこと。



実績

ウクライナ (2022年5月)

侵略から逃れた100人以上の
ウクライナ難民の子供たちへ
40個のサッカーボールを手渡しし、
また、トレーニングを実施

Operation Allies Refugee (米空軍基地 2022年1月)

米軍の撤退を受けて、
到着して間もない数百人の
アフガニスタン人の子供たちのために
トレーニングセッションと試合を実施



ナイジェリア・ボルノ (2022年11月)

ボコ・ハラムのテロリストによって家を追われた
100人以上のナイジェリア人の子供たちに
20個のサッカーボールを届ける。
国連の支援を受け現地での長期的な活動を予定

BRIDGES カップ “Save-A-Thon for Africa” (2014-2015年)

ナイジェリアでBRIDGESカップを開催し、ア
メリカから女子サッカー選手達を派遣。





Refugee Soccerは、難民の方達がサッカーを通じて地域社会に溶け込めるよう支援する団体です。

2023年の今年、サッカー女子ワールドカップの開催年に合わせ、『男女平等』の実現を目的に #SheBelongs(彼女の居場所)というプロジェクトを立ち上げます。

私たちは、難民コミュニティや地域社会で見過ごされ疎外されている難民少女たちの『Success (成功) と Challenge (挑戦)』に対する認識を高め、ピッチ内外で彼女たちが最大限の可能性を発揮できるよう支援していきます。

背景





#SheBelongs概要



2023年、ニュージーランド及びオーストラリアでサッカー女子ワールドカップが開催されます。このタイミングに合わせ、アメリカ、ユタ州で16才から18才の女子サッカーチームを作り、日本、ニュージーランドを訪問し、現地のチームとフレンドリーマッチを行いながら、世界における難民問題の啓蒙活動を行います。チームはアメリカに避難している難民が10名、元からアメリカに住んでいる選手10名で構成され、他12名のスタッフが帯同し、ツアーをサポートします。

日本には7月11日から15日まで滞在し、13日には慶應義塾大学グラウンドにてフレンドリーマッチの開催、また滞在期間中に政府関係機関や選手の出身国大使館への表敬訪問などを予定しています。





スケジュール

3月	4月	5月	6月	7月
準備期間 + ローンチ				
	チーム編成			
	トレーニング 開始	トレーニングの継続		
		ロジスティックスの準備		
				日本 & NZへ 出発

旅程



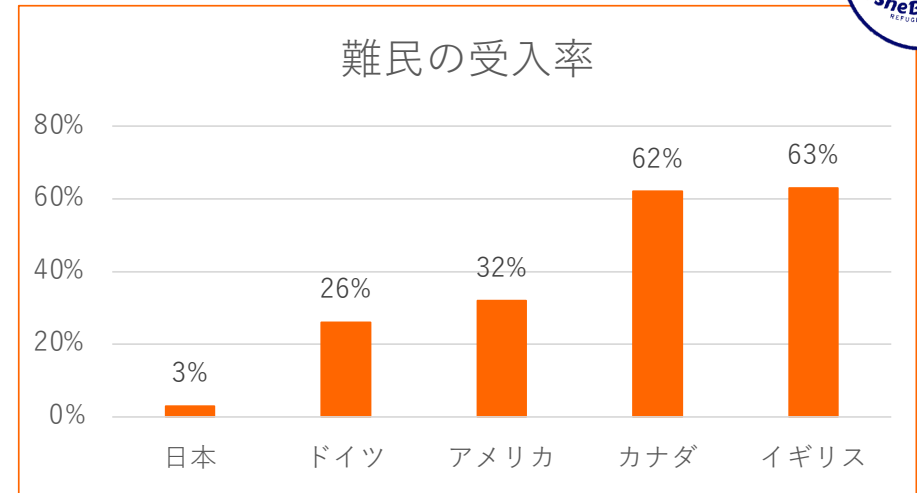
7月11日	日本到着
12日	政府関係機関、大使館表敬訪問
13日	日本の女子チームとフレンドリーマッチ
14日	日本観光
15日	ニュージーランドへ出発 到着
16日	難民コミュニティ・キャンプへの訪問
17日	フレンドリーマッチ
18日	難民コミュニティ・キャンプへの訪問
20日	女子ワールドカップ開会式
20日	フレンドリーマッチ
22日	アメリカ代表チーム 試合観戦 vsベトナム
22日	日本代表チーム 試合観戦 vsザンビア
23日	アメリカへ向けて出国

日程が変更する可能性あり



日本の状況

- ✓ 世界第3位の経済大国ではあるが、他国と比べ、難民受け入れ率は大きく下回る
- ✓ また平均調査期間も4年5ヶ月と長期化している
- ✓ 2023年通常国会において入管難民法が改正された
- ✓ ウクライナ、アフガニスタン、ミャンマー、トルコ、カンボジア、スリランカ、パキスタンから日本に避難を求める人口は増加傾向にある



ワールドカップ訪問の一環として、世界の難民危機に対する認識を高め、再定住地として、より歓迎するよう促す重要な機会

*5 https://www.moj.go.jp/isa/publications/press/07_00027.html?hl=en



日本での活動予定

PLAN

日本には7月11日から15日まで滞在し、日本の女子チームとのフレンドリーマッチを中心に、以下の活動を予定している

- ✓ フレンドリーマッチ 於慶應義塾大学日吉グラウンド 対戦相手は調整中
- ✓ 政府関係機関、及び大使館訪問
- ✓ 国会議員との意見交換会
- ✓ 記者会見及びメディアインタビュー
- ✓ 東京周辺観光



今後の活動課題

- 告知活動
 - SNS活動の強化
- アンバサダーの選定
 - 現役、元Jリーガー、WEリーガーに依頼中
 - 他競技、アスリート以外のアンバサダーにも依頼
- クラウドファンディングの実施
- NPO組織として持続可能な活動体制構築



関連リンク

Refugee Soccer メインサイト(英語)

<https://refugeesoccer.org/>

Refugee Soccer US紹介動画(英語)

<https://refugeesoccer.org/about/film/>

Refugee Soccer JP Facebook Page

[@RefugeeSoccer.jp](#)

Refugee Soccer JP Instagram

[@refugeesoccer_jp](#)

[#SheBelongs寄付サイト\(英語\)](#)

